

一般質問通告書

佐野市議会議長 様

平成 30年 2月16日	受理者印
午前 午後	5時00分 受理 

議会名	平成 30 年 第 1 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 9 番 氏名 亀山 春夫		
答弁を求める者（選択してください）	市長 ・ 副市長 ・ 教育長 ・ 担当部局長		
質問方法（いずれかを選択してください）	一問一答 ・ 一括質問一括答弁		
大項目(質問項目) 中項目(質問細目)	小項目（具体的な質問内容）		
1. 高齢者に対する支援事業について (1) 高齢者に対する支援事業について	① 高齢者生きがい活動支援通所事業はどのようなものがあり、どのような活動が行われているか。 ② 高齢者ふれあいサロンや介護予防教室などの事業を実施しておりますが、各地区での参加状況はどのくらいか。 ③ 高齢者生きがい活動支援通所事業については概ね 60 歳以上で日常生活が自立している方としておりますが、現役の方々にも、将来に向けて今から出来る各種事業への参加を期待したいが、どのような考えがあるか。		
(2) 男性への料理啓発について	① 食事は人間にとって生きる事の基本であり、大きな楽しみです。料理をした事のない男性が、一人暮らしを余儀なくされ、単身赴任をしなければならなくなった時に、まず困るのは毎日の食事です。佐野市の支援事業の中では、男性の料理講習などの取り組みは行っているのか。 ② 高齢者にはいつ、どんな事が起きるか分かりません。健康な今から男性が料理を学び、健康に気配りすることは元気な老後に役立つと思うが、市の見解を伺いたい。 ③ 一宮市では高齢者のための簡単料理教室(男子専科)を行っております。調理法と食事に関する講話や調理実習を受講料無料で年 4 回行っておりますが、佐野市でも今後取り組むべきと思うが、いかがか。		

2. 単身世帯の急増について

- ①佐野市の高齢者世帯の推移と夫婦のみの世帯、単身世帯数を伺いたい。
- ②単身世帯の現状と将来推計をどのようにとらえているのか。
- ③年代別の単身世帯の将来推計によると 2015 年から 2030 年にかけて 80 歳以上の男女、70 代の男性で単身世帯が増加するとあるが、主な要因はどのような事が考えられるのか。
- ④単身世帯の増加が社会に与える影響としては高齢単身世帯の貧困比率が高齢者全体の 2 倍程度高くなっている事が上げられています。老齢年金のみ、無年金、現役時代の低賃金、就労期間が短かったことなどが要因ですが、市はこのような高齢者に対してどのような支援ができるのか。
- ⑤老夫婦の異変に気付けないことや、孤立死の事件が社会の片隅で時折発生しております。行政や近所との円滑な関係が大切とは思いますが、町内会に入らず近所付き合いが希薄な人に対してどのような支援ができるのか。
- ⑥高齢者の交通事故の発生が社会問題化しており、認知機能の低下等による、アクセル、ブレーキの踏み間違いサポートシステム搭載の自動車の販売も進んでおります。1 月 19 日の下野新聞に鹿沼市では高齢者の事故防止を図るため、免許返納者に対して市営バスの「終身無料乗車券交付」の記事が掲載されました。佐野市でも同様に取り組むべきと思うがいかがか。